

令和4年度 第3回港区区政会議 全体会議 議事録

- 1 日 時 令和5年3月10日（金）午後7時～
- 2 場 所 港区役所5階会議室
- 3 出席者（委員）対面：伊東委員、井本委員、ヴィダル委員、大平委員、
加藤委員、北山委員、讚井委員、染矢委員、
武内委員、平井委員、松本委員、山岸委員
WEB：牛島委員、高瀬委員、高満委員、田口委員、山田委員
（市会議員）対面：西議員、藤田議員、山本議員
（港区役所）対面：山口区長、若林副区長、西山総務課長、
西堂総合政策担当課長、細江公民地域連携担当課長、
花立協働まちづくり推進課長、早川教育担当課長、
石田保健福祉課長、瓦保健・子育て支援担当課長、
朝間生活支援担当課長、桐谷窓口サービス課長
- 4 議 題
 - （1）港区まちづくりビジョンの改定について
 - （2）令和5年度運営方針（案）について
 - （3）令和5年度予算（案）について
 - （4）その他

○西堂総合政策担当課長 皆さん、こんばんは。定刻となりましたので、ただいまより令和4年度第3回区政会議の全体会議を開催させていただきます。

私は、総務課総合政策担当課長の西堂です。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、会議に先立ちまして、山口区長から一言ご挨拶させていただきます。

○山口区長 皆さん、こんばんは。お忙しい時間帯にお集まりいただきありがとうございます。

また、各部会でも様々議論していただきありがとうございます。

本日は、今年度最後の区政会議となります。本当にあつという間の1年だったなと思っています。港区に来ていろんなことを学んだんですけども、3つのエリアに、駅ごとに分かれていまして、何となくこう3つの区の区長をやっているような感覚もあります。それぞれ特徴があり、弁天町駅、朝潮橋駅、それから大阪港駅と、また可能性がたくさんある。特に、2025年大阪・関西万博までもう約2年というところになっておりますので、この1年の間にJR弁天町駅の建て替えが決まったり、また天保山ターミナルという海外からのクルーズ船を受け入れるターミナルの建て替えも進んでおります。また八幡屋周辺では市営住宅が建て替わりまして、そこの空いた土地、今、解体をしておりますけれども、そういった土地の活用というところ、本当に次から次に、どんどん町が変わって幾数年になるなというふうに思っていて、期待も持っていますし、またそこに地域の方たちが大事にしてきたものを反映しなければならないなと思っていますところ。

本日は、先週の部会で、各部会でいただいた意見に対して区役所の対応や考え方をお伝えするとともに、また新たに区民の皆様、部会の皆様全員そろいましたので、ご意見をお伺いしながら今後の区政運営に活かしてまいりたいと思っております。

そして、全体会議では、港区まちづくりビジョンの改定、令和5年度の運営方針（案）、予算（案）と、各部会でいただいたご意見等への対応もご説明いたします。

また、その他といたしまして、港区エリア別活性化プラン、先ほど言いました3つのエリアに分けて港区を活性化していきましょうというプランが令和3年度末にできているんですけども、こちらの改定などについて、後ほど担当よりご報告させていただきます。

ぜひ皆様の意見を、それもそれぞれの地域だったりお立場で聞く生の声や事例というもの、そういったものを共有していただければうれしく思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

○西堂総合政策担当課長 ありがとうございました。

区政会議につきましては、区政会議の運営の基本となる事項に関する条例の規定により、委員定数の2分の1以上の出席により成立するとなっております。この規定については、この場に出席されている会議の委員や関係者のほか、オンラインでの参加を含むものとなっております。

それでは、現在の出席状況をご報告させていただきます。委員の定数が23名のところ、ただいまオンラインでの参加も含めて15名の出席をいただいております。委員の2分の1以上の出席がございますので、有効に成立していることをご報告いたします。

また、会議は公開とし、後日、議事録公開のため録音しますので、発言の際は必ずマイクをご使用ください。

本日は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら進めてまいりますので、ご協力のほどよろしく願いいたします。会議中、少しでも体調が優れないようなことがありましたら、遠慮なくおっしゃってください。

また、条例第8条において、市議員は区政会議における議論に資するために必要な助言をすることができるかと規定されており、本日は、藤田議員にご出席いただいておりますことをご報告いたします。

本日の会議時間は1時間程度で、午後8時の終了を予定しています。時間内で活発な意見交換が行われ、会議を効率よく進めることができますよう、皆様のご協力をお願いいたします。

それでは、会議に入る前に、先日開催されました各部会の主な内容を簡単にご報告いただきたいと思っております。

当日配付資料⑤、部会で出された主なご意見と区役所の対応・考え方（令和4年度第3回）を併せてご覧ください。A3の横長の資料となっております。よろしいでしょうか。

それでは、まず、防災・防犯部会からお願いいたします。

○山岸委員 皆さん、こんばんは。防災・防犯部会の山岸です。どうぞよろしくお願い致します。

防災・防犯部会は2月27日に開催されました。

防災につきましては、個別避難計画について意見が出されました。個別避難計画とは、高齢者や障がい者など、自力で移動や情報の入手が困難であるなど、避難時に何らかの支援が必要となることが考えられる人。その方の逃げ遅れを防ぐために作成する計画です。

現在の進捗状況は、南市岡地域をモデル地域として作成が進められているということで、

今後、課題を整理し、ほかの地域へも広めていくということでした。また、個別避難計画の作成に当たっては、つながり名簿への掲載にもつながるよう、また日頃の見守りの強化につながり、それが防災や防犯で必要になったときに生きるよう取組を進めていくということでした。

防犯につきましては、最近テレビをにぎわしている気になる強盗事件について意見が出されておりました。港区内で発生しているかどうかというのをお聞きしましたところ、オブザーバー参加の港警察さんより、港区内では令和4年に強盗の事件の発生はなく、特殊詐欺と自転車の自転車盗が前年度より増加しているというそういう回答がありました。

以上です。

○西堂総合政策担当課長 ありがとうございます。

続きまして、福祉部会からお願いいたします。

○讚井委員 それでは、福祉部会の報告を、主な意見と区役所の対応・考え方についてご報告させていただきます。讚井といいます。よろしく申し上げます。

まず、4番目の子ども・子育て事業が市から区の事業に変更になるに当たって何らかの影響はあるものかということのご意見がありました。

当日の回答では、子ども・子育てプラザ事業は、基本的には大阪市24区共通の事業であるため内容が大きく変わることはありませんが、令和6年度には、現在建設中の複合施設交流会館への移転をする予定で、区民センターや老人福祉センター、図書館など、大勢の方の利用によって、多世代交流が見込まれ、また地域ぐるみで子育てを支援するという機運も高まり、期待されます。今後も地域課題に沿って子育て支援強化に向けて取り組んでいくとのことでした。

次に、7番目のご意見ですが、本日、もう少し後ろにある配付してある資料に人生会議ノートがありますけれども、その件でございます。

現在、港区で取り組んでいるACP普及活動について、入院時なども役立つものであり、港区だけのものではなく、他区でも広がるように期待したい。また、身寄りのない独居高齢者が自宅で最後のみとりを希望するケースが増えており、早めにその人たちの意思表示を行えることが重要であるとの意見がありました。

当日の回答では、自宅でのみとりについて、在宅医療・介護連携のための医師会との協力や日常的な福祉活動は、区社協など各種団体と連携し取り組んでまいりますので、引き続きご協力をお願いしたいとのことでした。

また、人生100年時代と言われる中、どのように人生の最期を過ごすか。個人が早めにACPに取り組むことで、家族がやりづらいことにも対応し、支援が可能になりますので、家族のいない人は、地域の協力を得て支援する。また、一部の人だけが抱え込まずみんなで共有することも大切であると考えているため、高齢人口の増加に伴うニーズの高まりに対応できるように、行政としても準備を備えて、気にかける地域づくりに向けて取り組んでいくとのことでした。

最後に、8番目、裏になりますが、障害者差別解消法、障害者虐待防止法がより地域に浸透し定着するよう継続して取組を進めてくださいとの意見に対し、今年度は区民モニターアンケートで認知調査を実施され、それらの結果を踏まえて、引き続き誰もが安心して暮らすことのできるまちづくりに向けて取り組んでいくとの回答をいただいております。

以上、簡単ですが報告させていただきます。

○西堂総合政策担当課長 ありがとうございます。

最後に、子ども青少年部会よりお願いいたします。

○染谷委員 子ども青少年部会の染谷です。よろしくをお願いいたします。

3月2日に開催された当部会の報告をさせていただきます。

最初に、港区PTA協議会会長から、小規模校の再編に関して、対象となっている小学校の保護者の一部の方と区長以下区役所とで行った意見交換会の報告がありました。その内容として、保護者からは「統廃合をぜひ進めてもらいたい」「できるなら早く進めてもらいたい」との意見が多かった。一方、これまで小規模校で手厚く子どもたちを見てもらっていたものが、急に大人数になり子どもたちが適応できるかなどの不安の声も上がりました。やはり子どもたちのことを考えると、単学級より複数学級で、小さな頃からいろんな人や価値観を持った人と触れ合えることが、より子どもたちの成長にプラスになると思うとのことでした。

この件について、区長からは、「区役所として現時点でまだ具体的な案はないが、この課題は置いておけない。今回はまだPTAの一部の方との意見交換なので、今後も話合いの機会を設けていく。いつ、どうしていくかなど、具体的な案を出してほしいとの意見もあったので、素案という形で来年度の早い段階に出して、それを基に議論していきたいと思っている。地域としては別の声や意見もあると思うので、忌憚のないご意見をいただきたい。また、中学校の単学級・小規模化が大きな課題であり、宿泊学習・1泊移住ができない状況にある。隣の学校なら行けるのに、その権利がないことに何とかしてあげたいという思いで、皆さん

のご意見をいただきながら進めていきたいと思う」とご発言されました。

このほか、委員から、学校選択制に関する意見、地域集会場での学習教室の状況やイノベーションによる町の活性化、また、小・中学校の校長先生から不登校対応や学校の現状や課題についてのお話をいただきました。

簡単ですが、以上、こども青少年部会のご報告とさせていただきます。

○西堂総合政策担当課長 ありがとうございます。

ただいま西議員もご出席されましたので、併せてご報告させていただきます。

それでは、讃井議長、議事進行をよろしくお願いいたします。

○讃井議長 はい。皆さん、こんばんは。議長として進行役を務めさせていただきます讃井です。着座にて失礼します。

皆さんのご協力をいただき、活発な意見交換をしていながら、会議を円滑に進めてまいりたいと思いますので、ご協力よろしくお願いいたします。

それでは、議題に入ります。

議題については、区役所からの説明をお願いします。

説明後、一括して委員の皆さんから積極的なご意見やご質問をいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○西堂総合政策担当課長 それでは、議題（１）港区まちづくりビジョンの改定についてから（３）令和５年度予算（案）についてまで、一括してご説明させていただきます。

いずれも事前に資料を送付し、内容のご確認をお願いしていますので、簡潔にご説明させていただきます。

私の説明でご覧いただく資料ですが、本日この場に出席されている委員の皆様には、あらかじめ資料を机の上に置かせていただいております。リモート出席の方には、画面で共有させていただきます。

資料Ａ－１ 港区まちづくりビジョン概要版と港区まちづくりビジョン本編、資料Ｂ－１ 令和５年度港区運営方針（案）、資料Ｂ－２ 「令和５年度港区運営方針（案）」主な戦略における具体的取組、資料Ｄ－１ 令和５年度港区関連予算（案）概要、この４つを使って説明をさせていただきます。

まず、議題（１）港区まちづくりビジョンの改定について、資料Ａ－１、Ａ３の一枚物の資料をご覧ください。

港区まちづくりビジョンは、平成２８年７月に策定し、資料右側にも記載のとおり、「１、

区民主体のまちづくり」から「5、訪れたい魅力と活気あふれるまちづくり」まで5つの柱を軸として港区が目指すまちづくりの方向性を示したものです。

この都度、港区のまちづくりの方向性に大きな変更はございませんが、資料上段にも記載のとおり、このビジョンは人口減少を食い止め、将来予測を覆すために、令和5年4月から4年間、令和9年3月までの計画として内容を一部改定しています。

港区では、今後さらなる人口減少、2045年、令和27年で今から22年後になりますが、6万人以下となることを見込まれています。特に、年少人口の減少が激しく、高齢化が進むことにより、地域福祉や防災などの課題も生まれてきます。

また、2025年には大阪・関西万博が開催され、国内外から多くの観光客が訪れることが見込まれ、港区のまちの魅力を発信し、豊富な観光・集客資源を生かして、一層のにぎわい創出や地域の活性化を目指す必要があります。

資料A-1 港区まちづくりビジョン本編の38ページをご覧ください。

まちのにぎわいづくりについて、ページの中段以降の②に記載のとおり、令和3年度に策定した「港区エリア別活性化プラン」に基づき、港区の東部、中部、西部の各エリアの特性に応じた中長期的なまちづくりを推進し、港区全体のにぎわい創出を図ります。

港区まちづくりビジョンでは、「令和5年4月から4年間でやるべきこと」をお示しし、さらなる目標として「2045年に港区の人口が10万人を超えるように、産官学や地域の力を結集して取り組む」こととしています。

この区政会議へのご意見を踏まえ、令和5年4月より4年間、このビジョンに沿って港区のまちづくりを進めてまいりたいと考えています。

続きまして、議題（2）令和5年度港区運営方針（案）について、資料B-1をご覧ください。

港区まちづくりビジョンを基に、令和5年度に取り組む港区の運営方針（案）を策定しました。

1 ページ目の上段に、目標として、暮らして楽しい・遊んで楽しい・働いて楽しい「未来と世界にひらくまち・港区」の実現を掲げ、使命と令和5年度の運営の基本的な考え方を示すとともに、港区のまちづくりの5つの柱に基づき、5つの経営課題を設定し、課題認識、主な戦略などを示しています。この様式だけではそれぞれの具体的な取組が分かりませんので、資料B-2に主な戦略における具体的な取組を記載しています。

この区政会議でのご意見を踏まえ、令和5年度は、この運営方針に沿って港区政の運営を

進めてまいりたいと考えています。

続きまして、議題（３）令和５年度予算（案）について、資料D-1をご覧ください。資料D-1 港区関連予算（案）概要をご覧ください。A4の横長のものとなっております。

令和５年度の港区役所予算（案）として、33億8,582万8,000円を計上しており、現在、市会においてもご審議いただいているところです。うち、区長自由経費、いわゆる区が実施する事業の経費として28億5,239万5,000円を計上しており、今年度予算より約3億5,500万円の増額となっております。主な理由としましては、現在建設中の（仮称）区画整理記念・交流会館の工事費や、港区子ども・子育てプラザを令和６年春に交流会館へ集約することを見据え、運営事業費を区CM自由経費、いわゆる局が実施する事業から区が実施する事業として区長自由経費へ振り替えたことによるものです。この振り替えに伴い、区CM自由経費については減額となっております。

なお、資料の２ページ目以降に、令和５年度に重点的に取り組む事業を記載しております。

議題（１）から（３）の説明は以上となります。よろしくお願ひいたします。

○讚井議長 ありがとうございます。

それでは、ただいまの議題１から３の報告に対するご質問やご意見を賜りたいと思います。どなたかございませんでしょうか。リモートの方も、もしあれば合図していただけたら。

お願いします、松本委員。

○松本委員 山口区長、平素、区政、ありがとうございます。

防災委員の松本です。

非常にいいかなと思っているんですけども、「未来と世界にひらくまち・港区」というキャッチフレーズに関して、非常に感銘を受けております。その中で、防災の強化のところではちょっと気になっているんですが、築港のまちづくりビジョンとも関わってくるのかなとは思っているんですけども、全体としまして、防災の対策の強化ということになりますと、区役所の守備範囲かどうかは少し分かりかねるんですが、港湾政策だと思うんですが、防災という形になりますと、船着場、バースの数が多ければ多いほど防災に非常にいいのではないかなという形で、港湾政策の中で考えております。といいますのも、昨年度の天保山まつりで自衛隊の護衛艦が入ったんですが、このときに自衛隊との折衝の中で、自衛隊のほうから、できるだけ着岸回数、そして港への、平和という形で誤解を受けがちですけども、そのときに入るルート、それをすることによって防災時の自衛隊の船の着岸が容易になる、そして防災、災害に遭ったときに自衛隊の出動が早くなるということをおっしゃっていました。そ

ういったことをまちづくりビジョンの今度は実施プランとして、いろんな形で区政に反映していただけたらな。そして、バースが充実していくと、未来と世界にひらくまち・港区という形が実現しやすくなるのではないかなと思っています。といいますのは、神戸では大規模な港の開発が進んでおります。大阪のほうが若干いろんな形で万博もあってこれからなんだろうとは思いますが、それを見たときに、世界的に見ると神戸も大阪も大阪湾というくくりになりますので、その辺の形をできるだけまちづくりビジョンの中でもお示しいただくような形ができればいいのではないかなと思っておりますが、いかがでしょうか。

○讃井議長 ありがとうございます。

それでは、区役所のほうから説明をお願いします。

○山口区長 ご意見ありがとうございます。

そうですね。大阪港、そして港区がどういった港としてこれから発展していくか。私はあまり詳しいわけではないんですけれども、やはり港湾局との連絡会みたいなのがありまして、今おっしゃっていただいたように、船着場が多いほどということであれば、またそこも港湾局のほうとしっかり連携して、入れられるものであれば入れたほうがいいと思いますし。どっちかという、何か物流の、何か働く港だなというのが最初見たときの印象ではあって、実際そういう歴史とかもひもといていくと、そういう神戸に負けないというふうに造られた港ということで。

もう一点は、物流だったり働く人が多い港ではあるんですけれども、やはり天保山ターミナルにたくさんのクルーズ船が来る、世界中からのお客様を受け入れる町として、ちょっとやっぱりほかのところの視察も行ったりしながら、どんな港にしていっていいのかも考えていきたいなというふうに思っていますので、ご助言ありがとうございます。

追加。すみません、じゃ、ちょっと。

○花立協働まちづくり推進課長 防災担当をしております花立です。

船着場等につきましては、災害時にも強いフロート式の船着場がユニバーサルスタジオのところにありますので、その活用についてもちょっと確認して、港区でも活用できるようにしていきたいと思えます。

○松本委員 それと、まちづくりのところで、細江課長にちょっと質問させていただいてよろしいですか。

現区長じゃない、前区長のと時から、まちづくりであるとかいろんな政策の中で、包括連携協定というのを何本か出されているかと思いますが、その定義についてちょっと教えてい

ただければと思っております。

○細江公民地域連携担当課長 公民地域連携担当課長の細江です。

松本委員にご指摘いただいた包括連携協定ですけれども、港区につきましては、前区長、筋原区長のときから特に力を入れていた分野で、公民連携のまちづくりというところで、行政課題といたしますか、町の課題とかいろんな課題を行政だけの力で解決というのは、今、財政的などところを含めて厳しい局面にあるのかなというところで、民間の持つ力、いろんなノウハウ、資金的な部分も含めて連携するところで、行政課題を公民で解決していく、そういったところを実現していくということで、例えば、美想空間さんとのKLASI COLLEGEさんとのリノベーションのまちづくりであるとか、防災面でもHOTEL SHEさんと連携協定を結ぶことで、災害時の宿泊場所の確保とか、ジーライオンさんとも包括連携協定を結んで、赤レンガ倉庫を活用した魅力発信や、中央突堤にある上屋をにぎわい施設としてオープンされたところで、公民が連携したまちづくりで活性化を進めていけるのかなと考えておるところでございます。

そういった連携協定を結ぶことで、港区だけではできないまちづくりも実現していけるのではないかなと考えているところです。

以上です。

○松本委員 ありがとうございます。

連携協定の分類をしていただけたらなと思っていまして。赤レンガ倉庫と中央突堤に関しては、大阪市のプロポーザルの中に含まれている文言から見ても、非常に有効なのではないかなと思うこともあるんですが、その他、事業の法人さんとの包括連携という形が前区長のときに少しありました。ここについては、何をもちってそういう形をしていくかということの説明というのが以前から必要なのかなと、私、感じておりましたが、そこをどう思われますか。

○細江公民地域連携担当課長 細江です。

そうですね、やはり特定の企業さんをつながりをつくることで、例えば透明性が実際確保できるのかとかそういったところもあるのかなというご指摘なのかなと思うんですけれども、例えば赤レンガ倉庫のジーライオンさんで言いますと、赤レンガ倉庫自体がもともと大阪市の港湾局の所管する施設を民間活力によって再生していく。その中で、募集要項の中で、区役所としっかりと連携をしながら地域の活性化をするといったところを募集要項の中にもうたわれて、2号上屋につきましても、同じく募集要項の中で公民連携を図ることが求められ

ており、その流れの中で区役所も連携協定を結んできたという経過であるかなと考えております。

あと、KLASI COLLEGEさんにつきましては、築港の古い上組さんのビルが空き家になるということで、地域でカフェをやっている方とかも、上組さんが抜けた、いなくなった後のリノベーションで町を活性化したいんだということで、美想空間さんと筋原区長がいろいろ協議された中で、当時、ちょうど築港・天保山まちづくり計画を策定したタイミングもありましたので、上組さんの後をリノベーションスクールといった形でKLASI COLLEGEという集客施設、複合施設をしていくという話の中で、連携協定を締結し、築港の活性化を公民連携のまちづくりとして、実現してきたと考えています。そういった、区役所の取組の中で連携協定を結ぶ流れもあったかと思うんですけども、今年度に、より幅広い連携協定を結ぶ形を取るべく広く募集する仕組みも作りまして、いろいろなまちづくりをしたいという企業さんなどからの提案を幅広く受け付けさせてもらって、公民連携事業審査委員会というものも港区役所の中で設けていますので、その中で特定の企業の営利活動だけを支援しないよう審査を行い、公民連携協定を締結していけたらと考えているところです。

○松本委員 分かりました。

今回、山口区長の世界に開くということ非常に賛同しておりまして、子育て、今まで抜け落ちていた子育てとか学校教育、すばらしいと思いますので、前区長のときからのところの明確な分類と、そして今後につなげていっていただければと思っております。

○讚井議長 ありがとうございます。

ほかにご意見、ご質問ございませんでしょうか。

それでは、次に、またご質問あれば、最後にまたお聞きしますので、次の議題に移りたいと思います。

議題（４）その他について、区役所より説明をお願いします。

○西堂総合政策担当課長 それでは、私のほうから議題（４）についてご説明させていただきます。

説明でご覧いただく資料につきましては、これも事前に机の上に置かせていただいておりますが、２月２０日付事前配付資料令和４年度第３回港区区政会議「事前意見内容と区役所の対応・考え方」、同じく２月２０日付事前配付資料区政会議で特にご意見を求めたい内容に対する委員からのご意見及び区役所の対応・考え方（令和４年度第３回）、それから当日配付

資料⑥港区エリア別活性化プラン（具体的な取り組み更新版）、それから当日配付資料⑦令和3年度第2回区政会議全体会議で出されたご意見と区役所の対応（進捗報告）の4つになります。

それでは、まず、令和4年度第3回港区区政会議「事前意見内容と区役所の対応・考え方」についてご説明させていただきます。

2つのご意見をいただいております。

1つ目は、街路樹（イチョウ）の管理、剪定基準や落ち葉の清掃についてのご意見です。

管轄の建設局八幡屋公園事務所に確認しましたところ、樹形を整えるため、状況に応じて3から5年ごとに剪定作業を行っており、作業は秋頃から順次行っています。また、落ち葉の清掃につきましては、管轄の環境局西部環境事業センターに確認しましたところ、月1回実施しているとのこと。落ち葉等でお困りの際は、遠慮なく西部環境事業センターへご相談、ご連絡ください。

2つ目は、区政会議委員の任期や関係者の位置づけに関するご意見です。

区政会議は、その適切な運営を図る観点から、全市的な統一基準を規範化することとして区政会議の運営の基本となる事項に関する条例を定めており、委員の任期は2年とし、また連続して3回以上選定されることができないこととなっています。区政会議に区民の皆様の多様な意見を反映させる観点から、委員としての期間と再選定の回数の制限を設けており、その多様な意見を反映させるためには、期間が長期にわたることは避けるべきであることなどに鑑み、連続して3回以上選定されることができないとするものです。

しかしながら、これまで区政会議委員の経験をお持ちの方でも、1期分、2年間の期間を空ければ再び2回まで連続して選定されることが可能となっています。

なお、関係者につきましては、任期はございませんので、今後とも専門的見地から忌憚のないご意見をいただきたいと思います。

続きまして、区政会議で特にご意見を求めたい内容に対する委員からのご意見及び区役所の対応・考え方及び港区エリア別活性化プランの改定について、併せて担当課長の細江からご説明させていただきます。

○細江公民地域連携担当課長 公民地域連携担当課長の細江です。

ご意見を求める内容としましては、市岡商業高校跡地の件でございまして、平成26年度に大学施設等を条件とした売却を試みましたが不調に終わり、現時点でも活用できていない状態が続いているところでございますが、令和3年4月に策定しましたエリア別活性化プラン

の中でもしっかり活用を進めていくということを位置づけまして、2025年の大阪万博というのが弁天町エリアも含めまして港区全体の活性化に向けた絶好の機会と認識しておりまして、そこに向けて、早期の活用、基本的には売却を基本とする活用を掲げていますけれども、そういう活用の検討は進めながらも、それまでの間も、放置することなく、何か地域の活性化とか万博の機運醸成に向けた活用を図っていけないかなと考えているところでございます。そういった観点でご意見をお伺いさせていただきたい次第でございます。

その中で、委員からのご意見としまして、4人の委員の方からもご意見いただきまして大変ありがとうございます。1つは市岡商業高校の所有はどうなっているのかとか、あと、グラウンドの部分を近隣の小中学校でクラブ活動とかも活用してはどうかといったところ、あと、キッチンカーとかそういった出店によるにぎわいのイベント、あと、コロナ禍を踏まえまして、やはりオープンな空間でのフードコートといったところも非常に有効ではないかという意見もいただいたところです。

それから、NPOとか市民活動とかも安価な形で場所を提供して、多様な活動の場にしてはどうかとか、あと、オープンスペースを活用した避難訓練や防災訓練の取組も有効ではないかといったご意見をいただいたところでございます。

区役所の考え方としましては、所有につきましては、ここは大阪市教育委員会の所管する土地ではあるんですけれども、港区のまちづくりの観点から、今、しっかりと地域のまちづくりにも資するような形の活用を検討しているところでございます。

暫定活用については、非常に古い校舎で耐震性というところに課題があるのと、体育館は比較的新しいんですけれども、内部がつり天井になっていまして、つり天井対策ができていないというところで、建物の活用は、難しいということで、基本的にはグラウンドの部分が暫定的に活用できる部分であるというところでございます。

今後、区民の皆様のご意見も踏まえながら、こういった形でオープンスペースを活用した活性化の取組を、所管している教育委員会と調整も進めていきたいと考えているところでございます。

あと、隣接するベイタワーで、POP BAYというフードコートのイベントというのも非常に好評だったと聞いていますので、またそういったアイデア、若い人たちが集まれるようなことで使えないかなとか、あと、まとまった空間というのは非常に貴重かなとも思いますので、やはり皆様方の関心の強い防災の取組なんかもいろいろ取組もできたらなと考えているところでございます。

いずれにしても、本格活用に向けた動きは取りつつも、貴重な空間を放置することなく活用できたらと考えているところがございますので、今後ともいろいろご意見いただければと思います。

以上でございます。

続きまして、港区エリア別活性化プランの方針の内容につきましてご説明させていただきます。

お手元の配付させていただいています（具体的な取り組み更新版）令和5年3月案という形でお示しさせていただいています。こちらのほう、改定している部分は赤字になっていますので、その変更している部分等について説明をさせていただきます。

お手元資料、開きまして2ページ目のところですね。

繰り返しになりますけれども、市岡商業高校跡地の売却の推進ということ、活用の推進というところで、令和7年の万博の開催を目標年として、しっかり民間による有効活用、検討を進めさせていただきたいということと、検討と並行しながら地域の活性化にも貢献する活用も進めていきたいと考えているところがございます。そういったところを今回変更点として改正させていただきたいと考えているところがございます。

ページめくりまして、3ページ目につきましては、こちらのほう、取組みの方向性⑤のところで、交流会館のまちづくりの推進とありますけれども、これは令和6年春の開業予定というところが、ちょっと時点修正をさせていただいていますので、その修正を今回させていただきたいと考えております。

東部エリアにつきましては以上で、中部エリアにつきましては、特に大きな変更点はないですが、引き続き、中部エリアもこのプランに沿った形で取り組めたらと考えているところです。

続きまして、西部エリアになるんですけれども、資料の11ページ目のところの取組みの方向性⑤ということで、築港エリア、人口減少も進んでいるところもありますが、居住空間といいますか、住宅供給の拡大を進めていくということで、大阪みなと中央病院の跡地の活用、国の所管の部分の土地あるんですけれども、その住宅開発の誘導に取り組むというところに加えまして、築港地区の埋立て事業というのを大阪港湾局のほうで、今、事業化に向けた検討を進めているところございまして、築港地区の埋立て事業との連携も、地域の活性化に向けて、区としてもしっかり取り組みたいということで、今回、活性化プランにも位置づけさせていただいた次第です。

改定の内容につきましては、案としましては以上になります。

○西堂総合政策担当課長 それでは、最後に私のほうから、当日配付資料⑦令和3年度第2回区政会議全体会議で出されたご意見と区役所の対応（進捗報告）をご覧ください。

大阪メトロ弁天町駅近くのライフ前から西方向ガスト前付近に至る点字ブロックの設置状況につきましてご意見をいただき、昨年8月のこの区政会議の場で、今年度中に改良工事の施工予定と報告をさせていただいたところですが、建設局のほうで工事業者を決める入札が不調となったため、内容を改めて精査し、入札を行いました。今月によりやく業者が決定しまして、次年度の工事施工完了に向けて、関係局のほうで今現在手続を進めているところです。

議題4の説明は以上となります。よろしくお願ひいたします。

○讚井議長 ありがとうございます。

それでは、ただいまの報告・説明に対するご質問、ご意見などを賜りたいと思います。

松本委員。

○松本委員 細江課長にまちづくりエリア別活性プランでちょっとご質問があります。

いろんな形で、特に築港エリアのほうなんですけれども、実は、地域の会長のほうから私のほうに依頼がありまして、築港エリアの人口減少、これは急速に人口が減っている、そして学校のいろんなこともある。その中で、やむを得ないことはありますけれども、やはりこのエリアをマンハッタンのごとく変えてほしいという形のお話がありました。マンハッタンがいいのかどうか、それは私は分かりませんが、そういう話が地域から上がってきて、私のほうにもそれを書いてもらえないかという話で書かせていただいています。都市政策の研究者でもありますので書いておるんですが、今、取組の方向性という形でいろいろ出させていただくことについては非常にいいかと思っております。ただ、一気になかなか、イノベーションも悪くはないと思いますが、イノベーションで一気に大きく変わることは全国の事例を見ても少ないと思います。今回、社会実験という形で区長が標榜していますコスプレという形についても、社会実験としては面白いと思いますが、それについての根拠等、もし地域活性化、そしてそういったものがありましたら、細江課長のほうからちょっとご意見、これがビジョンにどう反映されるか。

○細江公民地域連携担当課長

まずは、築港・天保山のマンハッタンのようなまちづくりを進めたらどうかというふうな会長からのご発言もあったということなんですけれども、エリア別活性化プランに先立ち築

港・天保山まちづくり計画を平成30年3月に港区のまちづくりの計画として位置づけさせてもらいまして、このエリア別活性化プランと連携する計画として取組を鋭意進めているところでございますが、計画策定から5年たってきたというところもありますので、今の時代に合わせたまちづくり計画の見直しも必要ではないかなとこちらも考えているところでございますので、まずは築港をどういう町にしたいかというところをしっかりとご意見を聞く機会もつくらせていただいて、広域的なまちづくりの整合性とかもあると思いますが、築港の埋立て事業というの、もし進むような話もあれば、なおさらこのエリアの今後の未来像を住民の人たちとも共有しながら、ビジョンとして形にするような取組をぜひ進めていけたらと考えているところでございます。

ひとまず築港の話は以上です。

○山口区長 先ほど連携協定という話がありましたけれども、行政がいろんなまちづくりの課題とかこういうこと困っていますというところに対して、こういう得意技を持っていますよという企業さんが協力をしてくれる。そのときに連携協定というのを結んで、連携関係するんだけど、結局お金がかかり過ぎるとかそれは無理みたいなことはちゃんと協議をしてすることになっているんです。

今年度、ハコスタさんという会社と協定を結びました。以前もお話ししたかもしれませんが、私はまず港区長になったときに何をしたかという、大阪市港区・本社で検索をしたんです。そしたらハコスタという会社があって、アニメイトというアニメのことを扱っている大きな会社の傘下にある会社なんですけれども、これが、港区が創業の地で、かつ今も本社を置いていて、港区の中に幾つかコスプレの撮影用のすごくおしゃれだったり、格好いいスタジオを幾つか持っています。彼らの得意分野が、全国のいろんな地域でアコスタという名前のコスプレイベントをやっているんです。この間、キューズモールでありましたし、あと、そうですね、いろんな緑地だとか、名古屋とか、本当に福岡とかあちこちで行っているんですけども、彼らのその地域活性化、コスプレーヤーさんって基本的にフォロワーさんがたくさんいますので、コスプレをして、そして港区のあちこちのスポットで写真を撮り、それをまたSNSで発信をしてくれることで、また港区に注目が集まったり、すてきなスポットが、また行ってみたいなと思われたりしたらいいなというところもあって、ご相談を持ちかけたというところです。

連携協定、普通は毎年更新で、期限というのは切らないものなんですけれども、ハコスタさんとはあえて3年という期限を切って協定を結びました。その理由は、やっぱり万博の会

期中6か月の間に、ただ素通りされるのは本当に嫌なんです。何かその6か月の間に、港区でも何かイベント、それも世界中の方が、やはり日本と言えどというところでの一つである、コスプレ実は世界中で人気ありまして、アニメはクールジャパンと言われて非常に人気ありますので、コスプレ万博 in みなとができたらいいなという、一応こう思い、目標を持って取り組みましょうということで協定を結びました。

ただ、そうは言っても、いきなりコスプレという概念が地域の方とか年配の方って、今のコスプレーヤーさんたちは本当すごくお人形みたいで、物すごく凝ったアニメのキャラにそっくりな人たちって多いんですけれども、なかなかそのイメージが湧かないということで、言葉だけがちょっと行ってしまったようなところもあるかなと思うんですけれども、徐々に区内でもイベントをしたりとか、コスプレーヤーさんの皆さんに、ちょっと地域の方も関わって、自分たちもその年があったとか、そのとき好きだったキャラクターのコスプレしてみたりとか、歴史上の人物とかでも全然オーケーですので、そういった中で、多世代、また多文化の交流、そしてほかの地域から、港区にそのイベントやコスプレが何かやっているらしいよというところで、交流人口というのが増えて、ああ、港区面白い町やなということに関わりたい。関わって来ているうちに、住みたいとかになってきたらうれしいなという思いもあって、協定を結ばせていただきました。

コスプレに関する私からの説明でした。以上です。

○松本委員 ありがとうございます。

コスプレということなので、アニメイトさんがある池袋についての研究を少しさせていただきました。池袋というところで、アニメという形で都市が変わりました。そこはなぜかといいますと、池袋が非常に危険な町であるという形であったかと思えます。池袋モンパルナスという形で芸術が盛んになっております。花街のある繁華街としてにぎわっていたところをそれによって再生する。そして次に、闇市のマーケットとかが非常に多かった町なんです。その後高度経済成長期にトキワ荘から漫画文化、アニメ産業の集積とアニメ文化の発信地という形で、秋葉原との差別化で乙女ロードができたと聞いております。こういった形で、小池知事ですか、非常にこのエリア、今、現実アニメイトさんのところは非常に若い人たちが行ってはいけない町、ここがよみがえったと聞いているんですが、今後、こういう形で町を活性化しているときに、池袋のほうは池袋コアゾーンがありまして、公園の活性化と連動してっております。こういったもので、できましたらお願いしたいんですが、ストーリーテリングという形で、港区の場合、今までいろんな形でイベントというのはあったかと

思うんですが、築港エリアという形でアンケート調査を各イベントでやってきたときに、船ということも1つあるかと思います。コスプレと船と、またそれをどうされるかということではなくて、もう一度、大阪の港区、大阪の海の玄関口の先端技術と自然回復を実現する実験場ということもおっしゃっていたかと思います。そして、歴史的な背景ということと、今新たにされることのストーリーをもう一度お考えいただければなと思っております。

○讃井議長 ありがとうございます。

それのご意見ということでよろしいですね。

ほか、ご意見とかご質問ございますでしょうか。

○北山委員 すみません。防犯・防災部会の北山です。

私のほうからは、資料B-2のほうに記載いただいております地域防災力の強化ということで、個別避難計画の策定ですとか、あと避難の行動、要支援者の方々の取組を強化していただけるということですが、このことにつきまして、やはり地域の中では手話通訳が必要な方ですとか、あと、海外の方に対しても通訳が必要な方もいらっしゃると思います。また、いろいろ取組、支援をしていただく際に、その担い手を確保するということが記載いただいていると思うのですが、実際にそういった支援をどういう形で想定しているですとか、何かその辺の計画等ございましたら、もう少し詳しく教えていただけるとありがたいなと思いました。

○讃井議長 ありがとうございます。

区役所のほうから。

○花立協働まちづくり推進課長 協働まちづくり推進課長の花立です。

外国人住民の通訳に関しては、今回、まちづくりビジョンに新たに多文化共生についての記載を加えさせていただきました。その多文化共生の取組の中でそういったことも実現できるように取り組んでまいりたいと思います。

手話通訳については、これまでも要支援者という枠組みで対象に入っていますので、今回個別避難計画の中でも、情報が届かなくて避難できない方というのも対象になっていますので、個別避難計画とも連動して、避難についても逃げ遅れがないような対応を併せて検討していきたいと思います。

○北山委員 ありがとうございます。

かなりこの個別避難計画のことについて、具体的にどうしていったらいいのかというお声をたくさんいただいています。障がい者地域自立支援協議会のほうでも、協働まちづくり推

進課の方から、この計画のことについてのお話はいただきました。本当にありがとうございました。そこにご参加いただいております各福祉サービス事業所の支援の皆様からは、いろんな方々、本当にお声をいただいております、実際にこれをやはりつくっていかねば、大切なご利用者様皆さんの命を守っていけないんだなということで、非常に考えていただく機会になったと思います。

今、私が申し上げたような、そういったところの小さな不安と言ってしまったらあれなんですけれども、一步、そこがやはり自分はこれが必要なんだけれどもなということを書いていく先、相談していく先というところもやはりすごく重要になってくるのかなと思います。

また、いろいろと検討していく中でも、各福祉サービス事業者さんの箱を借りて、例えば、地域の方々に積極的に何か交流イベントを開くですとか、ここの事業所にはこういった支援が必要な方々が通所されているんですということを少しオープンにして、コロナのこともあるんですけれども、そういったこともしっかりと時期を見ながら、こちらからも積極的に交流していけたらということも貴重なご意見としてもいただいておりますので、またそういったときには、皆様のご協力等もいただけたらと思っております。ありがとうございます。

○讚井議長 ありがとうございます。

○加藤委員 すみません。福祉部会の加藤と申します。

今、北山委員のほうからもお話しありましたように、これからモデル地域のほうで、地域の方になじみのある方のところから取り組んでいこうという、そこから先には介護サービス、なり障がい者サービスを使われている方や重度の方なども支援に入っていくと思います。その中で、先日の福祉部会のほうでもお伝えをさせていただいたんですが、施設の中には、他区からやはり来られて日中サービスを使われているというところもありますので、そういう方々のプランというのはお住まいの地域がおつくりになることにはなるんですけれども、日中のところでどうしていくのかということも含めて、施設の方々、やはり不安に感じておられるところもありますので、そのあたりも考慮いただけたらということと、あとは、先日も南市岡のモデル地域の話合いの中でも、やはりサービスの事業者さんとかのご協力をいただかないと、やはりご本人様だけのヒアリングの中で計画をつくっていくというのは非常に難しいんじゃないかというお話もありました。一方で、事業所さんも、恐らくこの利用者様が、災害が起きたときにどうなっていくんだろうという不安も感じておられると思います。ですが、ふだんの業務をしながらというところもありますので、そのあたり、お互いの力を

合わせて、地域と行政と介護事業者さんなりサービス事業者さん、力を合わせてやっていると非常にいいんだらうと思いますので、丁寧なご説明とご協力依頼というのをお願いできるとありがたいかなというふうに思いましたので、お伝えをさせていただきたいと思います。

あと、お時間があればなんですけど、もう一点なんですけれども、先ほどのこの事前の意見集約の中でしたか、そのあたりにもあるんですが、やはり学校の先生のサポートというのが非常に重要だというようなお話がありました。先日、少し参加させていただいた会議の中でも、ちょっと正式な参加ではなかったのご意見ちょこっと聞かせていただいただけにはなるんですが、高校へ行ってからの不登校みたいなお話もありまして、その中で、貸付けのほうに教育支援資金を借りに来られる方の中にも、不登校からの高校に行かれるところに貸付けを借りに来られるという方があって、果たして中学校なかなか行けていない中で就学が継続していくんだらうかとか不安を感じながらお話し聞かせていただくことがあるんですが、なかなか私たち、一度ご相談に来られただけになると、ある程度聞き取りはさせていただくんですけれども、そこから踏み込んでのご相談というのはなかなか難しいところもありますので、そういったときに、やはり学校の先生だけでの就学の支援って非常に難しいところもあろうかと思っておりますので、そういったところも何か支援があると、高校行って頑張りたいって思いがうまくつながるような、そういう支援があるとありがたいなと思しましたので、併せてお願いいたします。

以上です。

○花立協働まちづくり推進課長 まず最初にいただきました、加藤委員からいただきました、加藤委員と北山委員からいただきましたご質問、ご意見についてお答えさせていただきます。

防災については、やはり日頃の見守りとかつながりの延長で災害時にも支援ができるということだと思っております。そういう中で、そういった個別避難計画についても、日頃の見守りとかつながりが強化されるような形で進めていけたらなと思います。

例えば、個別避難計画をつくったら助けてくれるということであれば、つながり名簿に同意して個人情報共有していただいているとか、そういったことにつながっていくと思いますので、そういった取組をしたいと思っております。その中で、やはり専門機関とのつながりということも重要だと思っております。今回、明日、防災マルシェという取組をするんですが、そこでも地域の自主防災組織と地域の事業所さんとの研修会、そして交流会を予定しております。その事業所さんの中には、防災サポーター企業さんはもちろんのこと、地域の福祉事業所さんも入りまして、その中で地域の自主防災もつながっていただいて、例えば日頃のイ

ベントにも参加していただいて、日頃のつながりを深めていただけたらなと思っています。また、今後は福祉事業所さんと地域とつながるような場もつくっていききたいなと思っております。

いずれにしても、そういった取組がコミュニティー防災という考えでございまして、今後とも福祉の面と防災の面をしっかりとつなげていきたいと思っております。

○山口区長 もう一つ、高校の進学とか中退の問題ですけれども、これ、本当に小学校の校長をやって、その後教育委員会行って、生野区長になってから、本当にずっとこれやっているんですよ。何でかという、やっぱり若者は後回しになりがちなんです。区役所というのは、やっぱり特定妊婦さんとか、要はちょっとこのまま出産したらこれから大変かなという若い妊婦さんとか、あとは乳幼児の命を守るところの最前線で、本当に土日とか夜とかいろんな場面でももう苦労はしているんですけれども、どうしてもその若者の部分が放置されがちで、かつ所属がなくなるというのがとにかく一番よくないんです。中学校出ました。1日も行かず不登校、高校、やめます。やめた上で、じゃ、次どこにとなったときに、もう一回再進学すること多いですけれども、通信制の高校へ行って何とか頑張れた子もいますし、就職のほうに行った子もいますし、就職してからまた高校に戻るとか、そういった形もいろいろあります。コネクションズおおさかという大阪市の事業がありまして、まずは一旦そこにつないでいただけると、特にメンタルがしんどいとか、中学校のときから不登校ぎみだったという子の、ゆっくりステップ、寄り添ってステップアップしていくようなサービスもやっていますので、まずはここにということ、中学校にも一生懸命伝えているところなんですけれども、私たちもまた広報もしながらやっていきたいなというふうに思っています。

ご意見ありがとうございました。

○讚井議長 ありがとうございました。

それでは、本日は……

○松本委員 すみません、最後にもう一回だけ。

○讚井議長 はい。

○松本委員 細江課長にちょっとお願いがあるんですが、港区エリア別活性プランと先ほどの包括連携のところで抜け落ちているところがありますので、意見をさせていただきます。

包括連携においては、企業・事業者主体だと思うんですが、全てにおいてもう少し地元主体、住んでいる方、住民主体という形のエリア活性プランの意見を入れていただければなと思いますし、包括連携するに当たっても、丁寧に地元住民、住んでいる方主体の意見調整が

あれば、今後より発展するんじゃないかなと思います。

○山口区長 1点よろしいでしょうか。すみません。

最近もちょっと私思うところあるんですけども、地域とは何ぞやみたいところで、今はいろいろ地域の代表の方との会議とかもありますし、そういったところでご意見いただいているんですけども、特に、今回学校再編の話がもう、やりに来たんやろうと言われてますけれども、大阪市に条例がありますので、誰も好き好んで学校再編するわけではないんですけども、子どもを増やそうと思ったら、皆さん家を買います、または借ります。その地域の学校が1クラスしかありません。そして男女比がちょっと偏っていることもありまして、男子が4人しかいない。さあどうするということに、まずは学校再編どうしてもしなければならぬという局面もあると思うんです。前区長が言った案を検討しながら、この間PTAの皆さんと話をさせてもらいました。このテーマに関しては、やっぱり若い人の意見が欲しいなとか、まさに障がいを持っている方の声が聞きたいとか、そんないろんな場面があると思いますので、声の届け方とか、こっちももちろん聞きに行き方、いろんな手だてを取りたいなと思っています。特に、来年度は、一旦このまちづくりビジョンだとかエリア別活性化プラン出ているんですけども、やっとならコロナも収まって、ある程度、もっと地域の方と接点を持てるようになりますので、全部の地域回って、私も、何かもうちょっといっぱい話が聞けるような、いろんな年齢の方とか、もしかしたら住んでいる外国人の方とかも含めて、そういう座談会というか、もうちょっと意見交換会みたいなのがたくさんできたらいいなというふうに思っていますので、ご意見しっかり受け止めて進めたいと思います。

以上です。

○松本委員 ありがとうございます。

○讚井議長 ありがとうございます。

よろしいでしょうか。

それでは、本日、参加していただいている市会議員の先生方に一言ずつお願いしたいと思います。

まず、藤田議員、よろしくお祈りします。

○藤田議員 ありがとうございます。お疲れさまでございました。

区政会議、本当によくなったなというふうに思います。私、第1回目からずっと参加させていただいていますけれども、最初は本当に区役所が50分説明して終わるという会議で、来る人がどんどん減っていて、そのときには前々区長だったんですけども、もっとこう意見

が出るようなやり方を考えてよということです。具体的な提案として、どういうことを区役所が聞きたいのかを先ピックアップしたらどうやとかいうのも、今、実際ここに聞きたい意見の項目みたいなを出していただいて、すごくよくなったなどというふうに思います。

区政委員の皆さんも精力的に意見を出していただいて、本当に専門的な意見もたくさん出ていますので僕らも勉強になるなと思っていますぐらいです。

一方で、やっぱり一般の委員の方が、何か専門的な話がどんどん増えていくと、いや、こんなことで何か意見していいのかなみたいな気後れが出ないかなというのもちょっと心配していますので、ぜひ皆さん、この会議、本当にたくさんの意見を出していただいて、それをみんなでああでもない、こうでもない言う会議ですので、気後れしないようにどんどん意見を出していただいて、そのために各11地区からも委員出していただいていますし、一方で、もちろん専門的なご意見の方もたくさん入れていただいていますので、私の目線から見たらこうだよということを、全然その気後れなく言っていただいたらなというふうに思っております。

すみません、あまり長くなってもあれなので、あと一点だけなんですけれども、本当に包括協定はちょっと僕も気になっていたところではあったので、ちょうどいいタイミングかなというふうに思いますので、整理をしていただけたらなというふうに思っています。やっぱりいいことをしようと思って始める、スタートをする。熱量があるうちはいいんですけども、その前区長がいなくなって、これ何のためにやっていたんやっけみたいな感じになってしまうと、何かあの人ら何か得しているんちゃうかみたいな変なうわさがたっても、企業さんにも申し訳ないですし、区政に対する信頼というところでも大事な論点かなというふうに思いますので、やっぱり区民の皆さんに、これ必要だからやっているんだよというのを、分かりやすく、簡単に、短く説明できるようにしていただけたらなというふうに思いますので、よろしくお願いします。

以上です。

○讚井議長 ありがとうございます。

続きまして、山本議員、お願いします。

○山本議員 皆さんどうもお疲れさまでございます。ちょっと遅参をしまして、本当に申し訳ございません。

先ほど藤田先生も言われたとおり、本当にもう活発に委員の皆さんが意見出されて、区民

主体にどんどんと近づいていっているんだなというような感がしております。

その中で、ちょっと1点気になるところがありまして、1つは、先日、バレーボール大会、藤田先生とか議員団も呼ばれて行ったんですけども、チームの数が半分ぐらいに減っていたんですね。この3年間というコロナで、やっぱりその活動がどんどん衰退していっていると。それはもう別にバレーボールだけじゃなくて、地域活動も、恐らく非常に苦しいというか、厳しい時期を迎えたんだと思います。議会でも議論になっているのは、どうやって地域の担い手をつくっていくのかというのがもう最大の課題になっておりまして、区役所としましては、やはりもう最前線に出ております。ですので、特に、港区は、地域活動今までも活発にやってきましたので、しっかりとその辺を何か考えてらっしゃるのかどうかというのはちょっとお聞きしたいなというふうに思っております。

あとは、万博、もうこれからもう万博、万博といろんなところで聞くと思うんですけども、万博に向けてということでやっていくのはいいんですけども、しっかりとそのゴールを設定しないと、もう本当に一過性で終わってしまうと思います。本当は、その万博を迎えてレガシーみたいなものを何かつくっていくような。先日、議会の中で、トイレ、ちょうど和式が多いんですよ。それは各会派、やっぱもう、やっぱり洋式化するような動きをしてくんとあかんのちゃうかとか、体育館のところもちょうど改修しているんですけども、それももう洋式化思い切ってやっていきますと。ユニバーサル、いろんな方、障がいのある方からいろんな方が使えるような場所をどんどん造っていきましょうと。それがいわゆるレガシーにつながっていくんだと思うんですけども、やっぱりそういった何かしっかりとした取組とセットでやらないと、本当に港区に、結局終わったら何も残っていなかったみたいなことになるのが一番もったいないと思いますので、そのゴール設定をしっかりとつくって、活動して、区政を運営していただきたいと思います。

私のほうからは以上でございます。

○讚井議長 ありがとうございます。

市会議員の先生、ありがとうございます。

それでは、これで全ての議事が終了しましたので、区役所にお返しします。皆さんのおかげで会が無事に終わりました。ご協力ありがとうございました。

○西堂総合政策担当課長 讚井議長、議事進行ありがとうございました。委員、市会議員の皆様、ご協力ありがとうございました。

なお、本日、ウェブ参加の委員の皆様には、こちらの機械、音声の不通により大変ご迷惑

をおかけし、申し訳ございませんでした。また議事録を作成しまして、共有させていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

なお、限られた本日は時間でしたので、十分ご発言いただけなかった委員の方につきましては、当日配付資料⑧のご意見シートに記入の上、ご提出ください。3月末を締切りとさせていただいております。お寄せいただきましたご意見につきましては、区役所の対応・考え方を取りまとめまして、次回の区政会議、6月下旬頃の開催を予定しておりますが、その場で回答させていただきます。

それでは、最後に、副区長の若林より閉会のご挨拶をさせていただきます。

○若林副区長 副区長の若林でございます。

本日はお忙しい中、区政会議全体会議にご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。

また、委員の皆様からは、たくさんのご意見を賜りまして、重ねてお礼を申し上げます。

本日は、港区まちづくりビジョンの改定でありますとか、令和5年度の運営方針（案）、予算（案）につきまして、委員からご意見・ご評価をいただき、皆様が港区のことを、また地域のことを本当に真剣に考えて、よくしていきたいというお気持ちがあるということが強く伝わってまいりました。

この1年間、本当にありがとうございました。

また、新型コロナウイルスについては、今年に入ってから随分と落ち着いてまいりました。来週からは、マスクの着用の緩和でありますとか、また5月には新型コロナの部類を2類から5類に引き下げるといふような動きもございます。これまでの様々な行動制限、これも徐々に緩和されてきておりまして、徐々に日常が戻りつつある状況ではございます。

皆様におかれましては、今後ともご健康に十分にご留意をされまして、お元気にお過ごしいただきますとともに、引き続き区政に対するご協力、ご尽力をいただきますことをお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。